

議員活動（これまでの成果）

2 期 8 年にわたる議員活動の中で、執行部の方針を問うとともに、
様々な施策の提言や要望活動の成果！

命
を
守
る

- ◆消防力の充実・強化 ⇨ 消防署谷塚ステーション開所
○職員数：33 人
○消防ポンプ自動車 1 台、救急自動車 1 台
○谷塚ステーション開所により、通報から現場まで 6 分で到着することを目標とする
「6 分消防体制」が市内のほぼ全域で確立。今後は、更なる消防力の強化について、
強く働きかけてまいります。

- ◆救急医療の充実 ⇨ 心臓・脳血管センター開所
○透析治療や心筋梗塞、脳卒中などの治療を行う高度救急医療を開始⇒草加市立病院が
地域の中核医療機関として発展。
○救急ステーションも併設⇒埼玉県内での救急搬送件数は上位の受け入れをしている。

元
気
な
ま
ち

- ◆魅力あるまちづくり ⇨ 新たな観光資源の発掘(ホビーロボット等)
地場産業の振興(草加ブランドの確立を)



25 年 11 月 24 日街グル in 草加



25 年 11 月 3・4 日 草加商工会議所まつり・草加ふささらまつり



パリポリくん観光大使へ任命

○まちのにぎわいづくり、魅力あるまちづくり⇒新たな観光資源を生かしたまちづくり

- ◆谷塚駅周辺地区のまちづくり ⇨ 谷塚駅西口地区の基盤整備を

○谷塚駅西口地区まちづくり権利者協議会⇒設立総会終了

やさ
しい
まち

- ◆子どもたちの教育環境の整備 ⇨ 未来を担う子供たちの生きる力を育む
○こども医療費の無料化拡充、市内小・中学校の耐震化 100%達成、来年度から小・中学
校すべての普通教室にエアコンが稼働。

○トイレ環境の改善（和式トイレを洋式トイレに）⇒今年度より順次実施。

○谷塚中学校防球ネット改修工事⇒約 15m の防球ネットに改修します(平成 25 年度実施)

- ◆障がい者の就労支援を ⇨ 分け隔てなくもてる力を発揮できる社会を

○草加市には、東部障がい者就業・生活支援センター「みらい」が設置され、一定の成
果を上げているが、民間のみならず、市としても積極的な対応が必要と考え、ワークシ
ェアリングなどの提案を行うとともに、分け隔てのない社会を実現するため更に活動要
望します。

議会改革について

○平成 23 年 12 月定例会「議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条
例の制定について」（全員賛成で可決）⇒平成 24 年 4 月 1 日から費用弁償全廃

○平成 24 年 6 月定例会「草加市議会議員の定数を定める条例」（全員賛成で可決）

⇒次回選挙（平成 26 年 10 月予定）から、議員定数を 30 人から 28 人へ 2 人減

皆様のご意見・ご要望をお聞かせください。

TEL:048-923-1188

FAX:048-927-8818



草加市議会議員

草加市の「未来への扉」を皆さんと開く

関

せき
かずゆき

一

幸

市政報告



<http://www.wan-happy.jp>

早いもので今年も残すところ 1 ヶ月余りとなりました。日に日に寒さが
厳しさを増し、厚手のコートに顔をうずめながら通勤・通学する方々を
良く目にする季節の到来です。

少し気が早いですが、今年一年を振り返ると色々な出来事がありました。
富士山の世界遺産登録や 2020 年の東京オリンピックの開催決定は、ど
こか閉塞感のあった日本全体に活気をもたらした大変喜ばしいニュース
であり、また球団創設以来 9 年目となる楽天ゴールデンイーグルスの初
の日本一は東日本大震災で被害に遭われた東北の皆様の元気と勇気を再
び取り戻す大きなきっかけになったことでしょう。

草加市においても最近、嬉しいニュースが飛び込んできました。草加の
シンボルである「おくのほそ道の風景地 草加松原」が 11 月 15 日に開
催された国の文化審議会において、※1 国指定名勝に指定するよう文部科
学大臣に※2 答申され今後、文部科学大臣が※3 官報に告示し次第、正式
な指定となる予定です。

県内で国の名勝になるのは「長瀨」（1924 年）、「三波石峡」（1957 年）
に続き三件目で、56 年ぶりとなる快挙です。多くの先人の皆様の御苦
労とご尽力により、保存されてきた松並木が国の名勝指定を受ける事は
我々草加市民の誇りであり、またこの素晴らしい草加の歴史的遺産を次
世代にもしっかりと継承していかなければならない責務があると改めて認識をしているところです。

日本の良き伝統・文化・歴史の継続というのは、地域の発展なくしてはありえません。地域の活性
化があってこそ地域の人々の愛郷心が育まれ、やがてそれが自国の伝統・文化・歴史を大切に思う
心に繋がっていくことは古今東西を問わず不変の原理です。

草加市にも素晴らしい地場産業・伝統産業がたくさんありますし、歴史的に貴重な文化遺産も有形・
無形に関わらず多く存在しています。

我々、市議会議員は草加市の伝統・文化・歴史の重要さをしっかりと認識し、内外に向けて常に情
報発信をしていく役割も担っています。

そうした姿勢から新たな価値観が創出され次代の草加を築く礎になっていくと確信しています。今
後も地域の皆様と一体となりながら、草加の潜在力を掘り起こす努力と草加の良さを積極的にアピ
ールする努力をしていきたいと思ひます。

最後に、今回の議会報告がお手許に届く頃は 12 月定例会の最中であると思いますが、遅ればせなが
ら 9 月定例会の報告と議会活動の一旦を載せております。市政や地域に関わるご意見・ご提言・ご
要望をお寄せいただければ幸甚に存じます。

※1 国指定名勝・・・国指定の文化財の種類のひとつ。

※2 答申・・・上司の問いに対して、意見を申し述べること。特に諮問機関が、諮問を受けた事項について行
政官庁に意見を具申すること。

※3 官報・・・法令・条約・予算・告示・国会事項・人事・叙任などを、国が一般国民に知らせるために独立
行政法人国立印刷局から発行する日刊機関紙。



草加市議会議員
建設環境委員長

関 一幸

平成 25 年 9 月 定例会 について

平成 24 年度決算認定 11 件、補正予算案 7 件、条例案 9 件等、
合計 33 議案を市長提出議案の通り認定・可決！

◆平成 25 年度草加市一般会計補正予算（第 2 号）

◇本庁舎建設事業〔補正額：19,240 千円〕

近い将来、発生が懸念される震災に備え、災害対策機能の充実はもとより、老朽化した庁舎の改善を図るため、本庁舎の建設等について本庁舎建設調査検討業務を委託します。

さらに市長の諮問機関である「草加市庁舎建設審議会」が設置され、これから議論がなされます。
※草加市議会本庁舎建設調査特別委員会では、耐震補強より建て替えて、場所も現在地と同じであることが望ましいという意見で一致しています。

審議会の答申を経て、市の方針が決定されますが、最終答申の時期についてはまだ未定です。

◇廃棄物処理事業〔補正額：6,300 千円〕

東埼玉資源環境組合第二工場ごみ処理施設の建設に伴い、地域住民の還元施設の整備について、基本計画が策定されます。今後は、周辺住民の皆様からのご意見を参考に財政状況も考慮しながら住民還元施設整備に必要な基本的事項が検討され、整備計画が策定される予定です。

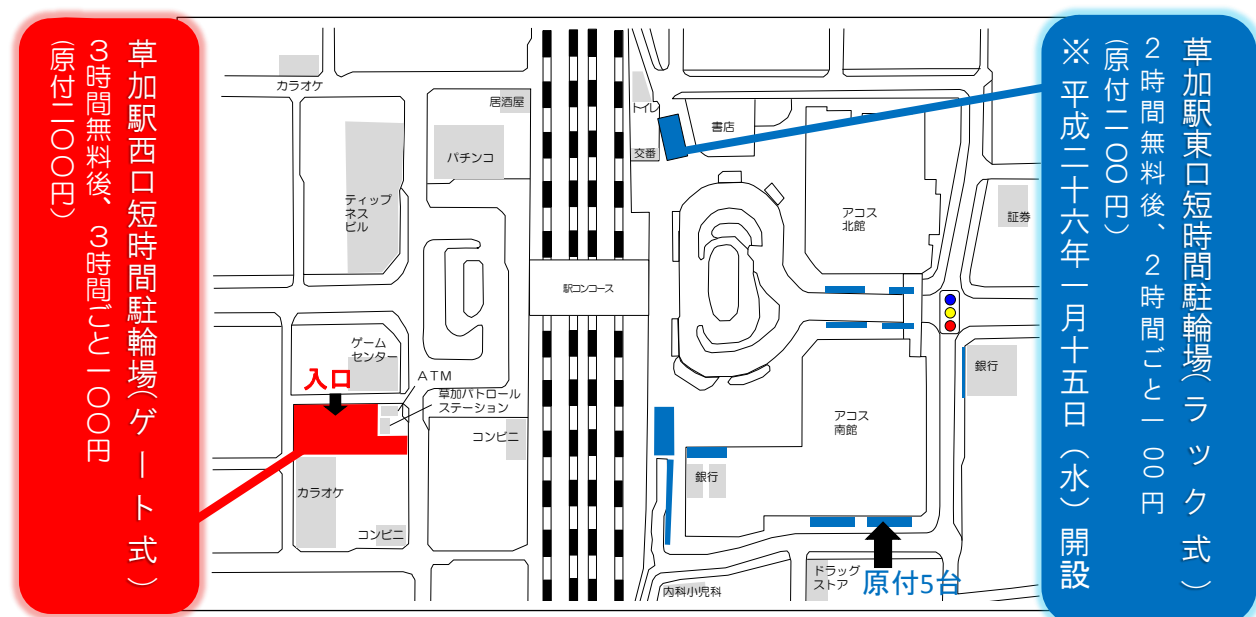
◆草加市駐輪場条例の制定

近年増加していた草加駅周辺の不法駐輪対策のために市営駐輪場が整備されます。

*草加駅東口短時間駐輪場：350 台 2 時間経過後、2 時間ごとに 100 円（※上限 500 円）

*草加駅西口短時間駐輪場：700 台 3 時間経過後、3 時間ごとに 100 円（※上限 500 円）

※主な議案を抜粋して掲載



平成 25 年 9 月 定例会 について

平成 24 年度草加市政報告！

◆救急医療体制の充実

◇心臓・脳血管センターの開設（市立病院に隣接）

◎ICU(3 階)、CCU(2 階)・・・病床数 ICU12 床、CCU8 床

ICU・CCU 看護師 38 人(平成 25 年 9 月現在)治療室内に医師を常備配置。

	平成 23 年度	平成 24 年度
入院延数(ICU・CCU)	1,611 人	2,775 人

◎腎センター・・・透析患者数 約 60 人、透析ベッド 40 床

(月・水・金、火・木・土の 2 コース制、月・水・金は午前・午後の 2 クール)

◇消防署谷塚ステーション開設

消防ポンプ車・救急車両各 1 台を配備し、救急出動 1,910 件 火災件数 10 件

◇子ども急病夜間クリニック開設

平成 24 年度の患者数 5,445 人（一日平均約 15 人）

◇医療・救急情報監理システム（救急ネット）の本格運用



◆子どもたちが健やかに育ち、安心して学べる環境を充実

◇こども医療費無料化の拡充

◇保育園児（3 歳児以上）の主食無料化

◇市内小・中学校の校舎・屋内運動場の耐震化率 100%達成

◇市内小・中学校の教室に扇風機を設置

※平成 25 年度中にエアコンを整備し、平成 26 年度から運用が開始されます。

◇子ども教育連携推進室を設置

◇新設認可保育園の開所 2 園：定員 160 人

※平成 26 年 4 月に 1 園の開所が予定され、平成 27 年 4 月に 2 園開所となるよう必要な手続きを進めています。

◆地域のきずなや顔の見える関係の構築を図る

◇金明専用グラウンド・ゴルフ場の開設（H24.12.9～）

◇新里文化センターの建設着手（※H26.4.1 開所予定）

◇広報そうか・・・月 2 回発行

草加市では、平成 24 年度において子ども達の安全・安心を守るため、小・中学校の全校舎耐震補強工事を完了させ、市民の健康と命を守るために心臓・脳血管センターや消防署谷塚ステーションを開設したほか、消防本部に個人のかかりつけ医や常用薬などの情報を事前に登録する「救急ネット」、買い物や掃除などの日常生活上のお手伝いを行う「ちょこっと手助けサービス」など高齢者の方々の生活の質の向上ができる事業に取り組みました。

また、次代を担う子ども達や子育て世代の支援のために、保育園の増設や義務教育までの医療費無料化、子ども急病夜間クリニックの開設などに加え、子どもたちが生涯にわたる「学びの基礎」が身につくよう、幼児期から小・中学校まで一貫しての教育連携を推進する新たな取り組みを進めるなど、厳しい財政状況の中でも、草加市政は前進し続けています。